

(2) 施策の方針

第4章 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野(3) 学校教育

施策の方針② 教育内容・教育環境の充実

< 目標とすべきまちの姿 >

教育機関の連携、教職員の研修等の取組により、教育内容の充実が図られています。また、指導方法の研究が進むとともに、少人数学級が実現され、確かな学力の定着と家庭学習の習慣化、学習意欲の向上が図られています。

すべての児童生徒が就学している状況にあり、児童生徒の支援・相談体制の充実、食育の推進により、いじめや不登校などの問題も少なくなり、多様な状況にある児童生徒の心身は、健康な状態が保たれています。また、障害の有無に関わらず、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズにあった教育環境で、個に応じた教育が行われています。

1 事業評価結果一覧表

教育部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
教育-03	小学校運営事業	98,858	441,204	45.0	b	B
教育-04	小学校施設管理運営事業	148,919	151,201	0.3	b	B
教育-05	小学校特別支援教育事業	4,836	7,118	0.3	b	B
教育-06	中学校運営事業	51,180	146,276	12.5	b	B
教育-07	中学校施設管理運営事業	51,338	53,620	0.3	b	B
教育-08	中学校特別支援教育事業	3,811	6,093	0.3	b	B
教育-15	学校施設管理事業	42,046	43,533	0.2	b	B
教育-16	小学校施設管理運営事業	124,770	144,097	2.6	b	B
教育-17	中学校施設管理運営事業	58,733	69,883	1.5	b	B
教育-26	就学支援事業	12,351	14,596	0.3	a	A
教育-27	小学校給食事務	194,142	231,560	5.0	a	A
教育-28	小学校教育振興助成事業	67,877	74,612	0.9	a	A
教育-29	中学校教育振興助成事業	28,669	31,662	0.4	a	A
教育-30	教育指導運営事業	3,240	17,120	1.8	b	B
教育-31	教育政策事業	2,551	4,093	0.2	a	A
教育-32	情報教育事業	62,150	79,114	2.2	a	A
教育-33	教育支援事業	61,726	74,063	1.6	b	B
教育-34	特別支援教育事業	81,760	97,182	2.0	a	A
教育-35	小学校研究・研修事業	569	3,653	0.4	a	C
教育-36	中学校研究・研修事業	303	1,845	0.2	a	C
教育-37	相談室事業	18,787	40,756	2.9	a	A
教育-38	調査研究研修事業	3,460	26,186	3.0	a	A
教育-39	教育情報事業	1,579	9,154	1.0	b	B

2 平成26年度末の目標

教育部

教職員の研修や指導方法の研究を進め、教育内容の充実を図る。
いじめや不登校等の問題に対応するために、児童・生徒の支援・相談体制を充実する。
教材・教具や備品等、設備の充実を図る。

3 平成26年度の取組の評価

教育部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切	□ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切	□ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切	□ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切	□ 要改善

児童・生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、教職員の指導力の向上を図った。
自ら学び、考える力を育成するとともに、自主性や社会性を身に付けることができるよう、創意工夫した多様な教育活動に努めた。
節約に努め、予算の効果的な執行に努めた。

4 今後の方向性

教育部

安定した学校運営を支援するために、支援員等の確保や設備の充実を図る。
小中一貫教育や特別支援教育を推進するために、関係機関と連携しながら、教育内容・教育環境の充実を図っていく。

5 平成27年度末の目標

教育部

児童・生徒一人ひとりが学習内容を確実に身に付けられるよう、きめ細かな教育を進める。
また、児童・生徒の良好な教育環境を維持するため、学校や関係部局との連携を図る。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・相談者の増加、学校支援の増加に対応した。
- ・いじめ防止について、学校、地域、関係機関、団体等が連携して取り組んでいる。
- ・情報の共有は大切であり、sosを見逃さずに家庭とも連絡を取りたい。
- ・少人数制が実現されている。
- ・ハード面での教育環境づくりは、計画的にすすめられている。

2 課題・提言

- ・学校現場での世代交代に伴い、複雑な問題等への対応に人的支援が必要である。その時期を見極めて、増員などの対応ができたことが良かった。
- ・少人数指導や様々な支援を必要とする児童に対応するためには、人的支援は必要であり、今後も充実させたい。
- ・総合学習は自主性や協調性を育てるのに役立つため、必要である。
- ・ひとりひとりの子どもたちを大切に教育を実施していくのは非常に難しい。教職員の人としての生き方が問われる。研修の機会を確保されたい。
- ・教職員の時間的余裕、心の余裕が持てるよう、人員に配慮する。